

平成 27 年 11 月定例会

教育委員会定例会会議録

書記 菊池 亮

書記 鈴木 和賀子

塩竈市教育委員会定例会会議録

◆日 時 平成 27 年 12 月 4 日（金） 午後 1 時 35 分～午後 2 時 35 分

◆場 所 壺番館 3 階共用会議室

◆出席委員

委 員 長	柴田 仁市郎	委員長職務代行者	太田 忍
委 員	池野 暢子	委 員	山田 達磨
教 育 長	高橋 睦麿		

◆事務局

教 育 部 長	菅原 靖彦	教育総務課長	渡辺 常幸
学校教育課長	高橋 義孝	生涯学習課長	本田 幹枝
市民交流センター館長	伊東 英二	教育総務課総務係長	菊池 亮
教育総務課専門主査	鈴木 和賀子		

◆定例会次第

- 1 開会
- 2 前回会議録承認
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 報告
 - ①専決処分報告 議案に対する意見について(倒木による車両損傷事故)
 - ②専決処分報告 議案に対する意見について
(塩竈市生涯学習センター条例の一部を改正する条例)
 - ③専決処分報告 予算案に対する意見について
(平成 27 年度一般会計補正予算)
 - ④専決処分報告 塩竈市生涯学習センター審議会の委員の委嘱について
 - ⑤専決処分報告 塩竈市民交流センター審議会の委員の委嘱について
- 5 教育長報告
 - ①第 5 回管内教育長会議について
- 6 教育部長報告
 - ①塩竈市震災復興計画の関連事業等について
- 7 その他報告
 - ①平成 28 年塩竈市成人式について
 - ②クイーンズ駅伝 in 宮城 第 35 回全日本実業団対抗女子駅伝競走大会
ハートフルプロジェクト ふれあい陸上教室について
 - ③平成 27 年度全国学力・学習状況調査について
- 8 閉会

1 開会 午後1時35分

2 前回会議録委員の署名

池野委員から報告、承認

3 会議録署名委員の指名

山田委員と高橋教育長を指名

4 報告

(1) 渡辺教育総務課長から、以下のことについて報告

① 専決処分報告 議案に対する意見について(倒木による車両損傷事故)

[主な質疑]

なし

(2) 本田生涯学習課長から、以下のことについて報告

② 専決処分報告 議案に対する意見について
(塩竈市生涯学習センター条例の一部を改正する条例)

[主な質疑]

なし

(3) 渡辺教育総務課長、本田生涯学習課長から、以下のことについて報告

③ 専決処分報告 予算案に対する意見について
(平成27年度一般会計補正予算)

[主な質疑]

- ・柴田委員長 発掘調査について、製塩土器片はかなり古いものだと分かったのか。
- ・本田生涯学習課長 おそらく平安時代の製塩土器片ではないかということで、実際はその場所から出たのではなくて周りの丘陵から流れ込んでそこにたまっただのではないかとの見解であった。

(4) 本田生涯学習課長から、以下のことについて報告

④ 専決処分報告 塩竈市生涯学習センター審議会の委員の委嘱について

[主な質疑]

なし

(5) 渡辺教育総務課長から、以下のことについて報告

⑤専決処分報告 塩竈市民交流センター審議会の委員の委嘱について

〔主な質疑〕

なし

5 教育長報告

(1) 高橋教育長から、以下のことについて報告

①第5回管内教育長会議について

〔主な質疑〕

- ・柴田委員長 校長・教頭の管理職選考試験は、どのような内容か。
- ・高橋教育長 大論文、小論文、法規、教育用語等についての紙面での試験と面接である。面接を行うと、おおよその姿勢等は分かる。
- ・池野委員 女性の管理職試験の受験者は校長先生の推薦がないために受けられないわけではなく、受験者数が少ないのか。
- ・高橋教育長 受験者数が少ない。優秀な女性の教員は多くいるが、例えば子育てが終わると介護等があり、本当にいろいろな条件が揃わないとなかなか女性が管理職に手を上げるのは難しい。
- ・柴田委員長 女性の方が手を上げられる様な環境づくりが必要である。何が足りないのか、男性だけで考えていてはいけない。
- ・太田委員 子育ても介護もご主人の協力が無いといけない。

- ・太田委員 塩竈市の合格者数について、19人受験して合格者が5人なのか。
- ・高橋教育長 はい。一次試験での不合格者も含めて19人である。一次試験合格者が二次試験を受け、二次試験合格者が名簿掲載され、名簿掲載の中から採用される。最近は、ほとんどの名簿掲載者が採用されるようだ。
- ・山田委員 名簿に掲載されて、採用にならない時は次の年に持ち越しはないのか。
- ・高橋教育長 今はない。
- ・柴田委員長 採用試験の時に、実技等実際に教壇の状況を審査しないのか。
- ・高橋教育長 試験では、模擬授業を行う。

6 教育部長報告

(1) 菅原教育部長から、以下のことについて報告

①塩竈市震災復興計画の関連事業等について

〔主な質疑〕

- ・柴田委員長 放射線測定でここ2年間、基準値を超えたことは一度もないのか。
- ・菅原部長 一度もない。

7 その他報告

(1) 本田生涯学習課長、高橋学校教育課長から以下のことについて報告

- ①平成28年塩竈市成人式について
- ②クイーンズ駅伝 in 宮城 第35回全日本実業団対抗女子駅伝競走大会
ハートフルプロジェクト ふれあい陸上教室について
- ③平成27年度全国学力・学習状況調査について

[主な質疑]

- ・柴田委員長 駅伝は今年も体育協会を通じて沿道の整理人員は確保してあるのか。
- ・本田生涯学習課長 100名以上確保している。スポンサーから白いスタジアムジャンパーと黄色い軍手が支給され、沿道で参加する方は黄色と赤の手袋をして手を振って応援する。
- ・高橋教育長 今回は、全中学校に手袋を配布した。
- ・柴田委員長 サッカーの松木安太郎さんを招いた事業は、評判がよくなかったようだ。
- ・本田生涯学習課長 神社の行事の初穂曳と重なってしまい、前半の綱引きから参加者が少なかった。その点は反省点である。しかし、当日サッカーの実技では財前選手がサポートに入り、子どもたちと一緒にサッカーをし、参加した子どもたちは大変喜んでいました。
- ・山田委員 学習状況について、「理科離れ」が言われている。理科は実験が面白くないと子どもたちが興味を持たない。実験でいかに面白いものを作っていか、理科の授業の中では大切なのではないかと思う。例えば、積極的に大学から理科の先生を招いたりすることはできないか。
- ・高橋教育課長 他市町村では理科教育を支援する取組を行っているところもある。中学校の理科の教員は専門なので、小学校に出向き小学校の先生と一緒にあって、実験はこうすると良いとアドバイス等をしながら理科教育を指導し、子どもたちに興味関心を持たせる授業が小学校でもできれば良いと思う。
理科だけではなくて、小中連携の取組ということで乗り入れ授業というものを考えている。
- ・柴田委員長 この学力学習状況テストの結果は残念である。このテストは、基本的には学校で学べばそれに対応できる様な指導はしていると思うが、学習塾に行つて学校以外で勉強している子どもたちもいる。そのため、平均点数が高いのではないかという声もある。

塩竈の子どもたちが学習塾に行っている調査というのは行っているのか。

- ・高橋教育課長 質問紙調査の中に『学習塾で勉強していますか』という質問がある。塩竈市の通塾率は低い。仙台市は、通塾率は非常に高いが、学力全国一の秋田県は通塾率が非常に低い。そのため、塾に行ったから学力が高いかどうかは一概には言えない。ただ、塾に通えば、勉強時間も増えるし、効果的な復習ができるということはある。勉強の仕方が身につけている子は、効果的に身につく。
- ・柴田委員長 経済的に塾に通うことが難しい子どもたちのために、ボランティアで勉強を教えている事例がテレビで紹介されており、それがかなり効果をだしているとのことだった。でも、秋田県の例をみると何か別の原因があるのか。
- ・高橋教育長 秋田県については、学習時間が長い。授業時数についても宮城県より1時間多く行っており、宿題も多い、それだけの量をこなす力量をつけられている。また、家庭環境については、三世同居が多いということもある。
- ・太田委員 やはり授業は大事だと思う。聞いていない子が聞く様に、引き込まれる分かりやすい授業を教員がしてほしい。机間指導もしてほしい。
- ・高橋教育長 学力学習状況調査の問題はとても良い特別な問題。それだけにある程度、訓練が必要である。文章が長いので、解くためには読み込んで納得して解いていかなければならない。そのため、テストの最後までいかない子どもたちもかなりいる。未答率も高い。それも下がっている原因ではないか。しかし、試験のための授業をしていくのも本末転倒になる。

8 閉会 午後 2 時 35 分

《會議録署名委員》

4番委員

(山田委員)

5番委員

(高橋教育長)